

1	議席番号 12 番	大石 巖 議員	開始予定時間 6月13日 午前9時
<p>【住吉地区の津波防潮堤かさ上げについて】</p> <p>南海トラフ巨大地震は、静岡県から宮崎県にかけて震度7となる強い揺れが想定され、太平洋沿岸では、10mを超える大津波が想定されています。</p> <p>突然の地震でも、住民の命、財産、生産活動の被害を少なくする防災対策を一日でも早く進めなくてはなりません。</p> <p>吉田町では、平成29年度に、吉田漁港多目的広場盛土工事をおおむね完了し、31年度からは、川尻地区の防潮堤かさ上げ工事が進められています。</p> <p>そこで、以下について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住吉地区の防潮堤かさ上げ工事の事業計画は。 2 来年度から第5次吉田町総合計画の後期基本計画が予定されているが、この中で住吉地区の津波防潮堤の位置づけはどうか。 3 平成29年度において、国土交通省が住吉地区の防潮堤設計の測量作業を行ったが、今後の具体的な作業スケジュールは。 			

2	議席番号 5 番	平野 積 議員	開始予定時間 6月13日 午前10時
<p>【TCPトリビンスプランについて】</p> <p>教育委員会会議録を読み解くと、吉田町の教育改革TCPトリビンスプランは、結論ありきの作文であり、特に「授業日の平準化」は、意思決定過程を経ない根拠のない施策であると強く感じられました。</p> <p>そこで、以下に質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 吉田町立小・中学校管理規則には、「小中学校の夏休み等の長期休暇は一定期間のうち、校長が定める。学校の教育課程及び授業日時数は学習指導要領及び別に定める基準により校長が編成する。」とあります。 <p style="margin-left: 2em;">授業日数を吉田町総合教育会議で定めることはできるのでしょうか。</p> 2 TCPトリビンスプランでは「子どもの確かな学力を保障する環境づくり」が謳われています。教育委員会が考える確かな学力とは何でしょうか。 <p style="margin-left: 2em;">また、その確かな学力をつけるために、どのような授業が必要と考えていますか。</p> 3 TCPトリビンスプランでは「教職員が授業に専念できる環境づくり（教職員の日々の多忙解消）」を謳っています。吉田町の教職員の授業準 			

備時間はどのくらいでしょうか。また、教職員の皆さんは「多忙感」を感じる業務は何であると言っていますか。

3	議席番号 9 番 山内 均 議員	開始予定時間 6月13日 午前11時
<p>【交通弱者の移動手段の確保と公共交通について】</p> <p>第5次吉田町総合計画の生活交通の分野には高齢化の進む中、高齢者の移動手段の確保が求められているとあります。</p> <p>今回の選挙期間中に、元気に頑張っている高齢者の方々と話をしてきましたが、強く要望されたのが移動手段となる「足」の問題でした。</p> <p>特に、現状での移動手段確保に対する大きな不安とそれを求める声、また免許証返納に伴う移動手段確保への不安感が見てとれました。</p> <p>その方々の真剣な意見や思いを代弁することが私の役割です。平成31年第1回定例会の一般質問で、主にコミュニティバスについて聞きましたが、皆さんの意見を伝える自分の役割が果たされたとは思えませんでした。移動手段については認知症や引きこもりの問題への対応も有効であると確認しています。</p> <p>そこで新たに質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 町が考える交通弱者の定義は。2 2025年問題と免許証返納に伴う移動手段についての考えは。3 交通弱者に対する、デマンド型乗合タクシーのメリットとデメリットをどう考えるか。4 他市町との移動手段の連携についての考えは。5 自動運転を利用した移動手段についてどう考えているか。		

4	議席番号 1 番 福世 義己 議員	開始予定時間 6月13日 午後1時
<p>【さくら保育園の津波防災対策について】</p> <p>2011年の東日本大震災から吉田町も避難タワーや防潮堤の建設など、さまざまな対策をとってきています。その中で災害弱者である子どもたちに焦点を当ててみたいと思います。</p> <p>地震が起こり、津波が押し寄せて来た時、住吉小学校の場合は、校舎が鉄筋コンクリート4階建てで屋上に避難場所がありますので、小学生の体格を考えれば、すぐに避難可能だと思いますが、さくら保育園の場合は、平屋建てであり屋上がありません。</p> <p>「吉田町地域防災計画」によると、さくら保育園のあるS街区は津波避難協定ビルのホテルプレストンに避難するようになっています。さくら保育園には130人の園児と22人の職員がいます。</p> <p>そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 津波避難訓練において、すべての園児・職員が津波避難協定ビルに避難が完了するまでに要した時間は何分でしたか。 2 この津波避難協定ビルに避難に向かっている途中で、時間的にたどり着くのが難しいと判断されるに至った時、行く先を変更して、第二の避難先に向かうことを余儀なくされることを想定した避難先の確保が出来ますか。 3 津波に対しては、水平避難より垂直避難の方が有効とされていますが、さくら保育園に垂直避難施設を設置する考えはありますか。 		

5	議席番号 4 番 中田 博之 議員	開始予定時間 6月13日 午後2時
<p>【幼児教育及び保育無償化について】</p> <p>令和元年10月から、幼児教育、保育無償化が始まると、これまで幼稚園や保育園に通っていなかった子どもたちも施設を利用することが予想されています。クラスの子どもの数が増えると、保育士の負担は大きくなります。</p> <p>保育士は、過酷な労働内容に待遇が見合っていないことが指摘されており、全国的にも不足している現状で、保育士を募集しても、すぐに人員が確保されるか疑問です。</p> <p>保育士の不足は、子どもの教育、保育の質の低下をまねくだけでなく、子どもを見守ることすらおろそかになってしまうことが考えられます。</p> <p>そこで、以下の点について、質問を致します。</p>		

- 1 子どもが増加した時の保育士の人員の確保はどうしますか。
- 2 保育士の待遇や労働環境の改善を今後どう進めていきますか。
- 3 幼児教育及び保育無償化によって子どもの施設を利用する人数が増加すれば、幼稚園、保育園の施設の拡充が必要ですが、そのような計画はありますか。
- 4 保育士1人当たりでみる子どもの数が増加することが考えられ、保育士が不足した結果、幼稚園や保育園の教育や保育の質の低下や安全性の低下が懸念されますがどのような対策をしていきますか。
- 5 待機児童0を維持するために民間事業の参入予定はありますか。

【吉田町の上水道事業について】

日本では、少子高齢化により人口が減少しています。水道事業において、人口の減少は、需要減を意味し、現状のままでは、収入が減少することは明らかです。

さらに、高度経済成長期に整備された多くの水道設備が、更新しなければならない時期に来ています。

そこで、以下の点について、質問を致します。

- 1 吉田町の上水道の現在の経営状況はどうなっていますか。
- 2 総務省の経営比較分析表を見ると、吉田町の「有形固定資産減価償却率」及び「管路経年化率」が高く、施設の老朽化が進んでいる状況ですが、アセットマネジメント計画において、吉田町の水道管の更新を必要とする総年数は約何年かかり、全ての水道管延長は何キロメートルで、毎年度管路更新率は何パーセント（何キロメートル）として更新する予定ですか。
- 3 その結果として水道料金が高くなる事はありますか。
- 4 アセットマネジメント計画や経営戦略及び実施計画に基づいて水道民営化やコンセッション方式の導入予定はありますか。

【吉田町教育大綱について】

現在、吉田町は、「吉田町教育大綱」に基づき、教育施策の推進を4つ掲げ、平成28年度から平成31年度の4年間、取り組んでいます。

そのひとつの施策で「思いやりをもち、あたたかい心のかよう人々が相互に助け合い喜びをもって学びあう環境をつくります。」では、吉田町内にある小中学校4校全ての教室においてエアコンを取り付け、昨年度の猛暑時には、子どもたちに、とても快適な学びの場となり、安心して教育が受けられました。

また、「地域の子どもは地域で育てる」地域教育推進のおかげで、子どもたちが安心して学校に通うことができたことを嬉しく思います。

そこで、以下質問します。

- 1 最終年度を迎えて、現在、「吉田町教育大綱」施策の目標達成率はどうなっていますか。
- 2 「主体的に学び、社会を生き抜いていける幅広い知識と教養の習得を推進します。」の重点施策のひとつに、「一人ひとりの個性と発達段階に応じたきめ細やかな教育を推進していきます」とありますが、具体的にどんな施策を行っているのでしょうか。
- 3 「目標に向かって挑戦し続ける心と体を鍛え、まちぐるみで健康の増進を推進します。」とありますが、昨年度、「南地域陸上大会」が最後の年となり、又、運動会の選抜リレーなどが、全員リレーへとかわりつつある小学校もあるなかで、目標に向かって挑戦し続ける、心と体を、どのような教育活動で鍛えてきたのでしょうか。
- 4 「地域の歴史・伝統や優れた芸術文化にふれ親しむ機会の充実を推進していきます。」とは、具体的に、どんな取り組みを行ってきたのでしょうか。